



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月15日

上場取引所 東

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社

コード番号 7238 URL <http://www.akebono-brake.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 信元 久隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代行

(氏名) 荘原 健

TEL 048-560-1501

四半期報告書提出予定日 平成27年12月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	141,605	15.0	△450	—	△1,428	—	△5,774	—
27年3月期第2四半期	123,122	5.8	3,722	15.6	3,460	17.0	920	△4.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △7,932百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 2,305百万円 (△67.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△43.41	—
27年3月期第2四半期	6.92	6.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	230,026	51,421	19.6
27年3月期	225,894	59,919	23.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 44,998百万円 27年3月期 53,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	11.3	△3,500	—	△6,000	—	△7,000	—	△52.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	135,992,343 株	27年3月期	135,992,343 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,960,862 株	27年3月期	2,980,485 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	133,020,150 株	27年3月期2Q	132,960,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	10
(セグメント情報等).....	10
4. 補足情報	
(1) 平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(注1)における当社グループの業績は、国内において自動車生産が引き続き低調なこともあり減収となりましたが、海外市場においては、北米で好調な需要を背景に自動車販売が拡大したことで、中国の新規受注の増加や為替換算の影響(149億円)などもあり、売上高は1,416億円(前年同期比15.0%増)となりました。利益面においては、中国、タイでの堅調な受注や生産合理化の効果もありましたが、北米において昨年下半年以降の生産混乱による影響が拡大・継続していることから労務費や空輸等の緊急輸送費などの追加費用が嵩み、5億円の営業損失(前年同期は営業利益37億円)となりました。経常利益は支払利息等もあり14億円の損失(前年同期は経常利益35億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は北米においてリコール関連損失(注2)やケンタッキー州のエリザベスタウン工場(以下、ABE)が前期に続き受注が増加し、生産混乱の収束が遅れ収益性が改善されず、減損の兆候が認められたことから当工場の固定資産の減損損失を計上したこと、及び日本において将来の回収可能性見直しにより一部の繰延税金資産を取り崩したことから58億円の損失(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

消費税増税の影響が長引いている上、4月に軽自動車の自動車税が増税されたこともあり、国内市場全体として自動車販売は引き続き低調となりました。当社国内事業においては、産業機械・鉄道部門の増収がありましたが、自動車生産の低迷による減収などにより、売上高は419億円(前年同期比3.5%減)となりました。利益面では、受注減少による影響や今後のさらなるグローバル化に伴う海外グループ企業の研究開発費の負担増加などがあったものの、海外事業からのロイヤルティ収入の増加・業績連動による賞与等の人件費の減少、生産・調達の合理化や経費削減の効果、産業機械・鉄道部門の増益効果などもあり、営業利益は19億円(前年同期比17.5%増)となりました。

②北米

低金利自動車ローン、ガソリン価格の下落などの影響もあり、ライトトラックなどを中心に米国での自動車販売は対前年同期比で増加しました。当社北米事業においても、主要完成車メーカーからの受注増加、及び為替換算の円安による影響(127億円)などにより、売上高は838億円(前年同期比26.2%増:現地通貨ベースでは7.0%の増加)となりました。利益面では、ABEでの生産混乱は昨年後半のピーク時よりは収束に向かっているものの、依然として受注量は高止まりし、一部のラインで未だ3直7日(週7日、1日24時間体制)稼働が継続しました。またケンタッキー州のグラスゴー工場においても、昨年第4四半期からディスクブレーキパッドの受注が急増し、休日出勤による労務費の増加、生産逼迫による緊急輸送費などの追加費用が継続して発生し、それに対応するため生産ラインを増設しましたが、生産が追いついていません。加えて、サウスカロライナ州のコロンビア工場においても、生産負荷が想定以上に高いこともありアルミ鋳造設備が故障、稼働率が著しく低下したことで出荷が大幅に遅れ、空輸等の緊急輸送費などの追加費用が発生しました。結果として、44億円の営業損失(前年同期は営業利益1億円)を計上するに至りました。

③欧州

欧州域内での景気回復などが自動車販売の拡大を牽引し、自動車販売台数は対前年同期比で増加しました。当社欧州事業においては、一部の補修品ビジネスが減少したものの、グローバルプラットフォーム(全世界での車台共通化)に対応した製品(当社アジア拠点からの輸入)や、高性能量販車に対応したブレーキキャリパー製品の売上(当社北米拠点からの輸入)が増加したこともあり、売上高は49億円(前年同期比15.4%増)となりました。利益面では、スロバキア工場の量産立ち上げや将来の拡大を睨んだキャリパービジネスの営業体制構築に伴う費用が発生したものの、販売価格の値上げや摩擦材工場の生産工程の改善効果も出始め、3億円の営業損失(前年同期は営業損失2億円)に留まりました。

④中国

中国市場においては販売・生産ともに増加率は前年同期に比べ縮小しているものの、SUVなどの人気車種の自動車販売が高い水準で推移しており市場全体の伸びを維持しております。当社中国事業においては、グローバルプラットフォーム向け製品の販売増加や、新規客先向けビジネスを含む受注の拡大、円安による為替換算の影響(13億円)もあり、売上高は92億円(前年同期比45.1%増)となりました。利益面では、低採算品の売上が増加したこと、減価償却費・ロイヤルティ費用の増加や人件費の上昇などがあったものの、受注増加、生産・調達合理化の効果により、営業利益は10億円(前年同期比

16.1%増)となりました。

⑤タイ

自動車輸出は増加したものの、長引く景気低迷により国内新車販売は対前年同期比で16.3%減少しました。当社タイ事業においても、内需不振の影響もあり、完成車メーカー向けの売上高は減少しましたが、補修品売上が増加したことから、売上高は34億円(前年同期比31.5%増)となりました。利益面では、減価償却費が増加したものの、営業利益は3億円(前年同期比157.8%増)と増収増益になりました。

⑥インドネシア

インドネシア国内のインフラ整備が遅れていることやガソリン価格の上昇(政府補助金の撤廃、ルピア安による輸入価格上昇)などが新車販売に影響し、自動車販売は対前年同期比で減少しました。当社インドネシア事業においては、欧州向けグローバルプラットフォームに対応したブレーキ製品の出荷が好調だったものの、内需の低迷から日系四輪自動車メーカーや二輪車メーカーからの受注が減少したことから、売上高は83億円(前年同期比0.7%減)となりました。利益面では、受注の減少に加え、人件費の上昇や減価償却費の増加などもあり、営業利益は8億円(前年同期比24.3%減)となりました。

(注1) 当第2四半期連結累計期間とは

- (1) 北米・中国・タイ・インドネシア：平成27年1月～平成27年6月
 (2) 日本・欧州：平成27年4月～平成27年9月 となります。

(注2) 平成27年6月12日付けの「米国GM社向け製品の不具合について」にて公表

<不適切な会計処理の当社業績に与える影響について>

本日公表の「調査委員会の調査報告書受領及び不適切会計処理に関する再発防止策のお知らせ」でもお知らせいたしましたとおり、当社における売上認識に関わる不適切会計の可能性について独立性・客観性を持つ有識者を中心とする調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。本件取引においては実態として翌期分の売上の前倒しであり、実体のない売上を計上したのではなく、直近の第1四半期までの累計ベースにて、既にその差異はほとんど解消されております。また、売上代金の回収は確実にされており、売上後に返品処理もされていないことから、売上そのものは実在性に問題はないと考えております。

これらの状況を踏まえ、また金額的重要性の観点から、当該不適切会計処理が過年度及び平成28年3月期第1四半期の決算に与える影響は軽微であると判断し、過年度及び平成28年3月期第1四半期の決算の訂正は行なわないこととしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は2,300億円と前連結会計年度末比41億円の増加となりました。

流動資産は890億円と前連結会計年度末比87億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が16億円増加したことや北米での季節要因(年度末売上減少からの反動増)により受取手形及び売掛金が29億円増加したことなどによるものです。固定資産は1,410億円と前連結会計年度末比45億円の減少となりました。主な要因は、北米において固定資産の減損損失を計上したことなどにより有形固定資産が11億円減少したことや、株価の下落により投資有価証券が39億円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は1,786億円と前連結会計年度末比126億円の増加となりました。

流動負債は1,094億円と前連結会計年度末比89億円の増加となりました。主な要因は、約定返済に伴う1年内返済予定の長期借入金が50億円減少した一方で、北米での季節要因(年度末仕入減少からの反動増)により支払手形及び買掛金が32億円増加したことや運転資金の使途を目的とした短期借入金が95億円増加したことによるものです。固定負債は692億円と前連結会計年度末比37億円の増加となりました。主な要因は、株価の下落などにより繰延税金負債が4億円減少した一方で、長期的な運転資金の確保を目的とした長期借入金が41億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高1,169億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は1,030億円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は514億円と前連結会計年度末比85億円の減少となりました。主な要因は、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が27億円減少したことや親会社株主に帰属する四半期純損失58億円の計上、配当金の支払いなどにより利益剰余金が64億円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比16億円増加の139億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億円の収入（前年同期比18億円の収入増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失36億円や法人税等の支払額16億円があったものの、減価償却費64億円のほか、在庫削減活動の効果等により運転資本が改善し、資金が増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、89億円の支出（前年同期比9億円の支出減少）となりました。主な要因は、北米を中心とした新規モデル立上げ準備に伴う設備投資やABEでの生産対応投資などにより有形固定資産の取得による支出が83億円となり、資金が減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、70億円の収入（前年同期比1億円の収入減少）となりました。主な要因は、約定返済に伴う長期借入金の返済による支出66億円や配当金の支払額7億円があった一方で、運転資金の使途を目的とした短期借入金の純増額91億円や長期借入れによる収入55億円などにより、資金が増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月7日に公表いたしました連結業績予想を下方修正しております。本日お知らせのとおり、当第2四半期連結累計期間において米国事業における昨年下半年以降の生産混乱が長引き大幅な営業損失となりました。また、通期連結業績予想においても予想数値を大きく下回る見込みです。詳細につきましては、「平成28年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正>

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間			通期業績予想		
	前回予想	今回実績	増減額	前回予想	今回予想	増減額
売上高	142,300	141,605	△695	288,000	283,000	△5,000
営業利益	1,200	△450	△1,650	6,500	△3,500	△10,000
経常利益	500	△1,428	△1,928	4,800	△6,000	△10,800
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△900	△5,774	△4,874	1,500	△7,000	△8,500
1株当たり四半期 (当期)純利益	△6円77銭	△43円41銭	—	11円28銭	△52円62銭	—

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,365	13,924
受取手形及び売掛金	40,605	43,521
商品及び製品	4,369	4,123
仕掛品	2,632	2,628
原材料及び貯蔵品	12,547	12,769
繰延税金資産	1,049	1,068
その他	7,051	11,201
貸倒引当金	△265	△200
流動資産合計	80,353	89,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,731	58,295
減価償却累計額	△31,371	△32,239
建物及び構築物(純額)	26,360	26,057
機械装置及び運搬具	165,945	168,165
減価償却累計額	△118,615	△122,589
機械装置及び運搬具(純額)	47,331	45,576
土地	21,656	21,847
建設仮勘定	13,507	14,273
その他	20,514	20,879
減価償却累計額	△18,059	△18,471
その他(純額)	2,454	2,408
有形固定資産合計	111,308	110,160
無形固定資産	2,710	2,721
投資その他の資産		
投資有価証券	25,676	21,781
退職給付に係る資産	3,537	3,850
繰延税金資産	1,213	1,271
その他	1,173	1,284
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	31,522	28,111
固定資産合計	145,540	140,991
資産合計	225,894	230,026

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,602	32,758
短期借入金	21,266	30,747
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	16,538	11,519
未払法人税等	444	704
賞与引当金	1,737	1,714
設備関係支払手形	3,345	2,182
その他	12,547	14,738
流動負債合計	100,480	109,361
固定負債		
長期借入金	50,403	54,540
役員退職慰労引当金	26	27
退職給付に係る負債	2,269	2,226
繰延税金負債	4,259	3,886
再評価に係る繰延税金負債	3,324	3,324
その他	5,214	5,241
固定負債合計	65,495	69,244
負債合計	165,975	178,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	12,978	12,972
利益剰余金	754	△5,685
自己株式	△1,993	△1,980
株主資本合計	31,678	25,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,606	7,927
土地再評価差額金	6,572	6,572
為替換算調整勘定	4,725	4,820
退職給付に係る調整累計額	319	433
その他の包括利益累計額合計	22,222	19,752
新株予約権	248	240
非支配株主持分	5,771	6,182
純資産合計	59,919	51,421
負債純資産合計	225,894	230,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	123,122	141,605
売上原価	110,037	132,261
売上総利益	13,085	9,344
販売費及び一般管理費	9,363	9,794
営業利益又は営業損失(△)	3,722	△450
営業外収益		
受取利息	63	71
受取配当金	203	276
持分法による投資利益	3	3
為替差益	195	—
その他	105	64
営業外収益合計	569	414
営業外費用		
支払利息	537	797
その他	295	595
営業外費用合計	831	1,392
経常利益又は経常損失(△)	3,460	△1,428
特別利益		
固定資産売却益	34	12
補助金収入	23	34
特別利益合計	57	46
特別損失		
固定資産除売却損	208	27
減損損失	224	1,590
環境対策費	33	—
リコール関連損失	—	602
特別損失合計	465	2,220
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,051	△3,601
法人税、住民税及び事業税	1,072	962
法人税等調整額	442	711
法人税等合計	1,514	1,673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,537	△5,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	618	500
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	920	△5,774

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,537	△5,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,370	△2,678
為替換算調整勘定	△1,722	△110
退職給付に係る調整額	120	131
その他の包括利益合計	768	△2,657
四半期包括利益	2,305	△7,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,805	△8,244
非支配株主に係る四半期包括利益	501	312

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,051	△3,601
減価償却費	4,903	6,429
減損損失	224	1,590
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△75
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△115	△205
受取利息及び受取配当金	△266	△347
支払利息	537	797
持分法による投資損益(△は益)	△3	△3
固定資産除売却損益(△は益)	173	15
売上債権の増減額(△は増加)	△4,970	△2,543
たな卸資産の増減額(△は増加)	△514	182
仕入債務の増減額(△は減少)	461	2,890
その他	△136	462
小計	3,399	5,592
利息及び配当金の受取額	266	347
利息の支払額	△535	△797
法人税等の支払額	△1,387	△1,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	3,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	405	—
有形固定資産の取得による支出	△10,327	△8,343
国庫補助金等による収入	11	—
有形固定資産の売却による収入	193	31
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
その他	△37	△528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,764	△8,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,580	9,145
長期借入れによる収入	11,405	5,451
長期借入金の返済による支出	△9,319	△6,585
配当金の支払額	△665	△665
非支配株主への配当金の支払額	△754	△734
非支配株主からの払込みによる収入	—	282
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	△1,029	—
その他	△148	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,069	6,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,051	1,560
現金及び現金同等物の期首残高	13,532	12,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,481	13,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への売上高	38,818	65,068	3,205	6,169	2,428	7,434	123,122	—	123,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,624	1,320	997	201	164	961	8,267	△8,267	—
計	43,442	66,389	4,201	6,370	2,592	8,394	131,389	△8,267	123,122
セグメント利益又は 損失(△)	1,598	85	△222	839	130	1,106	3,537	186	3,722

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への売上高	36,725	81,827	4,011	9,040	2,943	7,059	141,605	—	141,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,185	1,936	839	206	466	1,274	9,905	△9,905	—
計	41,910	83,762	4,850	9,246	3,408	8,333	151,510	△9,905	141,605
セグメント利益又は 損失(△)	1,877	△4,350	△307	975	336	837	△633	183	△450

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成27年12月15日

平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要〔連結〕

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (H26.4~H26.9)		当第2四半期連結累計期間 (H27.4~H27.9)		増減	増減率
売上高	(100.0)	123,122	(100.0)	141,605	18,483	15.0%
売上総利益	(10.6)	13,085	(6.6)	9,344	△3,742	△28.6%
営業利益	(3.0)	3,722	(-)	△450	△4,172	-
経常利益	(2.8)	3,460	(-)	△1,428	△4,888	-
特別損益		△408		△2,173	△1,765	-
税前四半期純利益	(2.5)	3,051	(-)	△3,601	△6,653	-
法人税等・調整額		1,514		1,673	159	10.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益		618		500	△118	△19.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(0.7)	920	(-)	△5,774	△6,694	-
総資産	(前期末) = 平成27年3月期	225,894	(当期末)	230,026	4,132	1.8%
純資産	(前期末)	59,919	(当期末)	51,421	△8,498	△14.2%
自己資本	(前期末)	53,900	(当期末)	44,998	△8,902	△16.5%
自己資本比率	(前期末)	23.9%	(当期末)	19.6%	△4.3%	
現預金	(前期末)	12,365	(当期末)	13,924	1,560	
有利子負債	(前期末)	108,162	(当期末)	116,921	8,759	
ネット有利子負債	(前期末)	95,798	(当期末)	102,997	7,200	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	1.78倍	(当期末)	2.29倍	+0.51倍	
営業CF		1,743		3,583	1,841	
(内数：減価償却費)		(4,903)		(6,429)	(1,527)	
投資CF		△9,764		△8,850	914	
(内数：定期預金)		(405)		(-)	(△405)	
(内数：設備投資)		(△10,422)		(△8,810)	(1,612)	
フリーCF		△8,021		△5,267	2,755	
財務CF		7,069		6,983	△86	
連結子会社数	(前期末)	27社	(当期末)	27社	-	
持分法適用会社数	(前期末)	1社	(当期末)	1社	-	
期中平均レート	USD	USD 102.2円	USD	USD 120.5円	18.3円	
	EUR / CNY	EUR 138.6円 / CNY 16.6円	EUR	135.3円 / CNY 19.4円	△3.3円 / 2.8円	
	THB / IDR	THB 3.1円 / IDR 0.009円	THB	3.7円 / IDR 0.009円	0.6円 / -円	

2. 地域別業績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (H26.4~H26.9)		当第2四半期連結累計期間 (H27.4~H27.9)		増減	増減率	為替換算 影響	
売上高	日本	43,442	41,910	△1,532	△3.5%	-		
	北米	66,389	83,762	17,374	26.2%	12,712		
	内 米国	66,300	83,449	17,149	25.9%	12,665		
	内 멕시코	89	313	224	251.7%	47		
	欧州	4,201	4,850	649	15.4%	△100		
	中国	6,370	9,246	2,876	45.1%	1,337		
	タイ	2,592	3,408	816	31.5%	476		
	インドネシア	8,394	8,333	△61	△0.7%	448		
	連結消去	△8,267	△9,905	△1,638	-	-		
	連結	123,122	141,605	18,483	15.0%	14,873		
営業利益	日本	3.7%	1,598	4.5%	1,877	279	17.5%	-
	北米	0.1%	85	-	△4,350	△4,435	-	△653
	内 米国	0.5%	306	-	△4,175	△4,481	-	△627
	内 멕시코	-	△221	-	△175	46	-	△26
	欧州	-	△222	-	△307	△85	-	9
	中国	13.2%	839	10.5%	975	135	16.1%	140
	タイ	5.0%	130	9.9%	336	205	157.8%	47
	インドネシア	13.2%	1,106	10.0%	837	△269	△24.3%	45
	連結消去	-	186	-	183	△3	△1.6%	-
	連結	3.0%	3,722	-	△450	△4,172	-	△412

3. 通期連結業績予想数値

(単位:百万円)

		5/7公表 通期連結業績予想数値 (H27.4~H28.3)		12/15公表 通期連結業績予想数値 (H27.4~H28.3)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		87,000		83,200	△3,800	△4.4%	-
	北米		165,600		167,050	1,450	0.9%	1,681
	内 米国		164,900		166,400	1,500	0.9%	1,675
	内 韓国		700		650	△50	△7.1%	7
	欧州		10,900		10,800	△100	△0.9%	△175
	中国		20,300		19,250	△1,050	△5.2%	△750
	タイ		6,400		6,000	△400	△6.3%	△289
	インドネシア		18,400		16,900	△1,500	△8.2%	△186
	連結消去		△20,500		△20,200	300	-	-
	連結		288,000		283,000	△5,000	△1.7%	282
営業利益	日本	3.7%	3,200	4.2%	3,500	300	9.4%	-
	北米	-	△200	-	△10,400	△10,200	-	△105
	内 米国	0.1%	200	-	△10,100	△10,300	-	△102
	内 韓国	-	△400	-	△300	100	-	△3
	欧州	-	△1,200	-	△950	250	-	15
	中国	8.9%	1,800	10.9%	2,100	300	16.7%	△82
	タイ	7.8%	500	8.3%	500	-	-	△24
	インドネシア	12.0%	2,200	8.9%	1,500	△700	△31.8%	△16
	連結消去	-	200	-	250	50	25.0%	-
連結	2.3%	6,500	-	△3,500	△10,000	-	△212	

前提為替レート	USD	EUR	CNY	THB	IDR
前回予想	120.0円	135.0円	20.0円	3.7円	0.0092円
今回予想	121.2円	132.9円	19.3円	3.5円	0.0091円

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。